

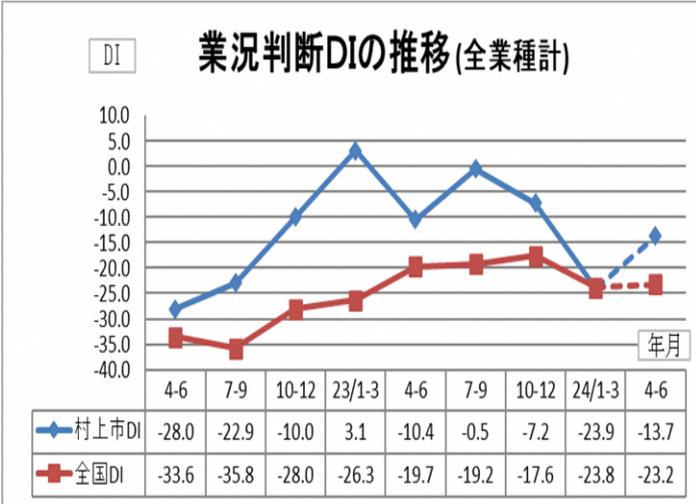


村上市 景況調査報告

〈令和6年1-3月期の実績・令和6年4-6月期の見通し〉

『物価高騰などにより、持ち直しの動きに足踏みがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

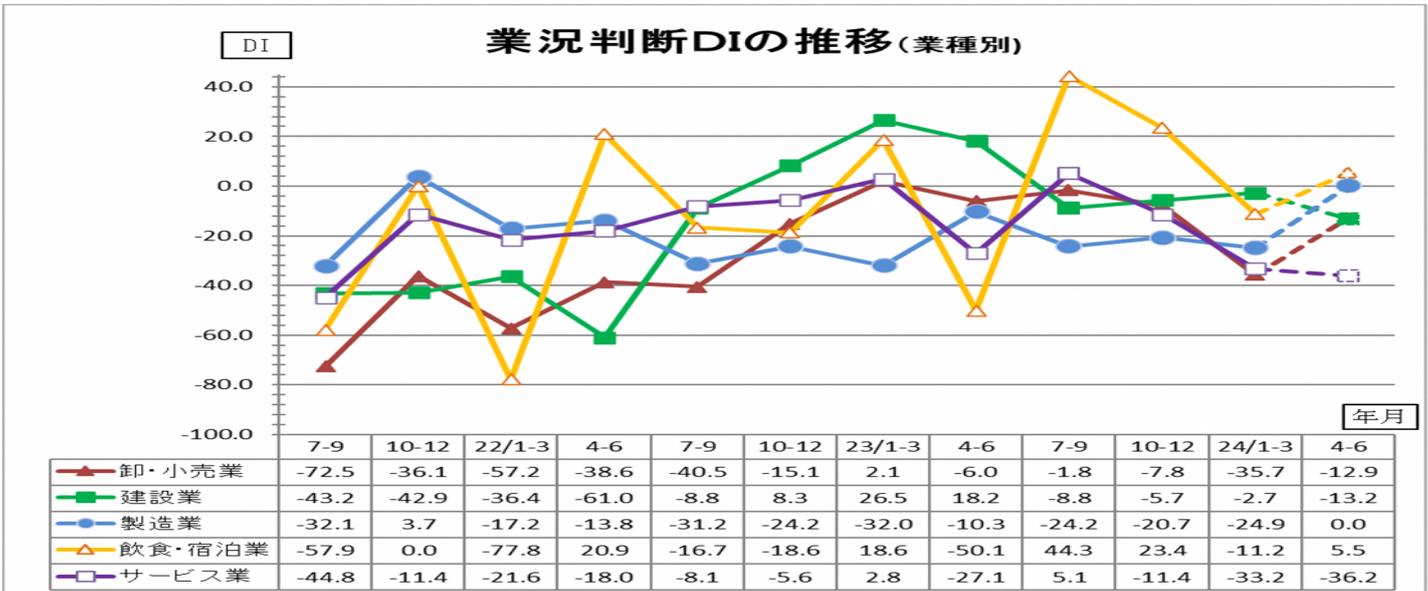


今期(1-3月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(10-12月期)と比べ16.7ポイント低下し▲23.9となった。前期における今期予測(▲26.7)より2.8ポイント上昇し、前年同月比では27.0ポイント低下した。全国DIは6.2ポイント低下し▲23.8となった。

来期(4-6月期)については、10.2ポイント上昇し▲13.7となる見通し。全国DIは0.6ポイント上昇し▲23.2となる見通し。

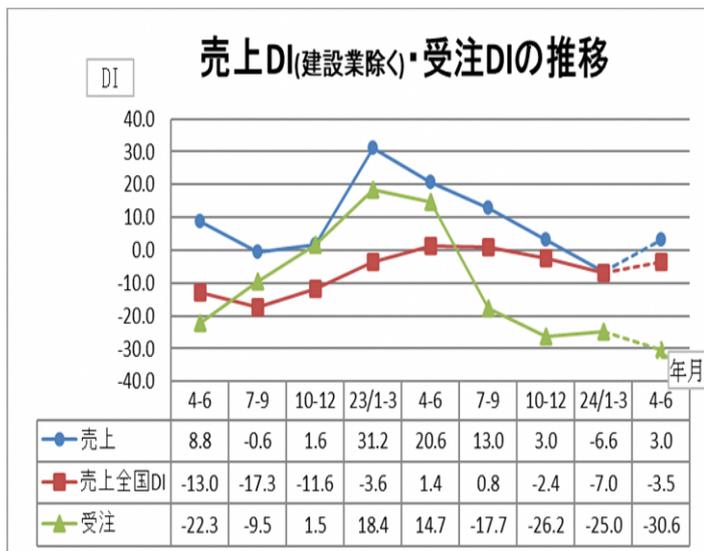
飲食・宿泊業では、能登半島地震の影響により客足が鈍り、風評被害もあってDIは大きく低下。引き続き全業種において、物価高騰や人手不足、賃上げによる人件費増加などが懸念されている。

見通しとしては、さらなる物価高騰が不安視されているが、GWでの消費や市の商品券などに期待を込めて村上市DIは全国DIより大きく上昇を示している。



■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
季節物衣料品小売業では暖冬により売上不振。能登半島地震の影響で初売りに客が来なかったため、その後の仕入にも影響があった。観光関連小売では北陸応援割の発表後2~3月は宿泊キャンセルが相次ぎ、応援割の効果は期待より薄かった。見通しとしては、これからGWで人出増が期待できるが、さらなる物価高騰が続き、先行きが懸念されている。	小雪だったため除雪関連の受注減少というコメントが目立つが、その分、工事が早期に稼働したため±0というコメントもある。その他、価格競争激化、資材高騰、人材不足などのコメントもあり、引き続き厳しい状況が続いている。見通しとしては、市のリフォーム補助金に期待しつつ、2024年問題への対応も懸念材料となっている。	半導体関連は回復傾向。菓子製造は出荷量上昇でもコスト上昇で薄利。製材業は受注低迷。航空機関連は回復傾向。能登半島地震仮設住宅部材を受注したという企業もある。見通しとしては、さらなるコスト上昇が懸念されている。	飲食業では市の飲食券によって好調だった。能登半島地震の影響により客数が減少したとのコメントもある。宿泊業では地震の風評被害により予約動向が鈍った。北陸応援割が売上手助けになった。見通しとしては、今後の市の商品券に期待。北陸応援割は需要回復に寄与したが割引率が大きかったが件数が少なく限定的だったため今後もあまり期待できないとの意見もあった。	ゴミ収集運搬業では取引先飲食店減少に伴い売上減。運送業では2024年問題の長時間労働抑制対応で売上減。理容業では顧客の高齢化や人口減少で売上減。清掃業では売上は微増だが利益が昇給に合わないとのコメントも。見通しとしては、引き続き様々な要因から売上減少が見込まれておりDIも低下している。



今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、9.6%低下し▲6.6となった。前期における今期予測(▲12.0)より5.4%上昇し、前年同月比では37.8%低下した。全国DIは4.6%低下し▲7.0となった。

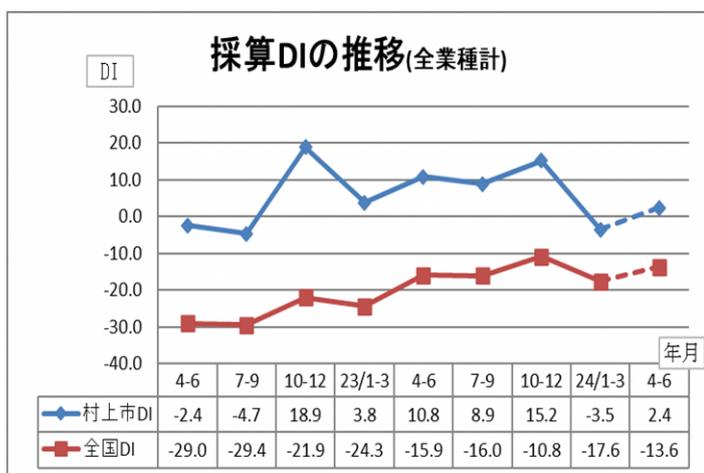
来期については、9.6%上昇し3.0となる見通し。全国DIは3.5%上昇し▲3.5となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、1.2%上昇し▲25.0となった。前期における今期予測(▲30.5)より5.5%上昇し、前年同月比では43.4%低下した。

来期については、5.6%低下し▲30.6となる見通し。

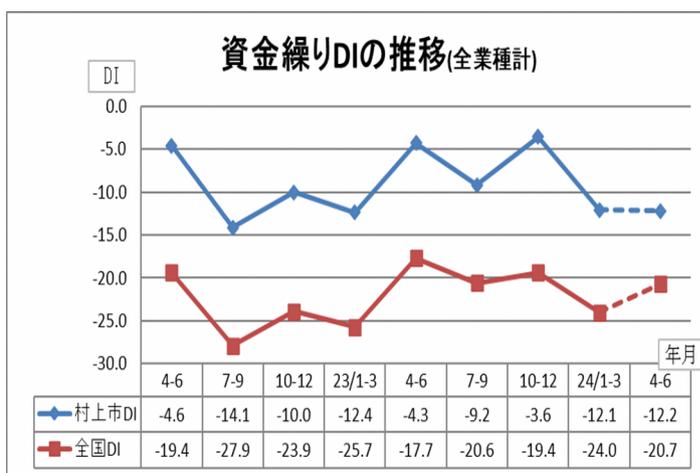
【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	-32.3	-35.2	-42.9
・製造業	-18.6	-11.2	-14.8



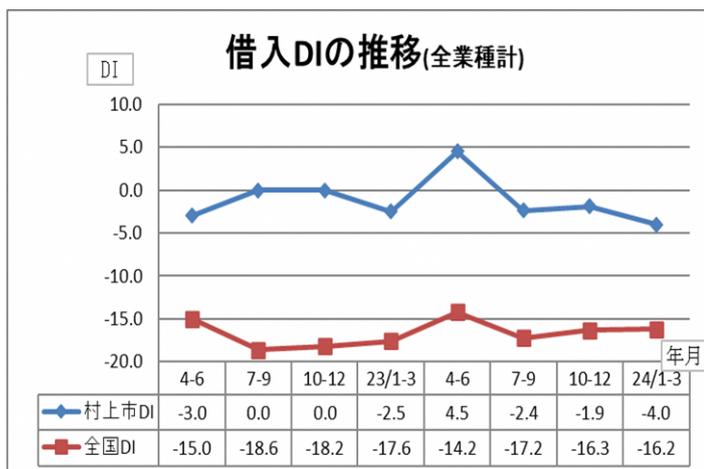
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、18.7%低下し▲3.5となった。前期における今期予測(▲8.0)より4.5%上昇し、前年同月比では7.3%低下した。全国DIは6.8%低下し▲17.6となった。

来期については、5.9%上昇し2.4となる見通し。全国DIは4.0%上昇し▲13.6となる見通し。



今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、8.5%低下し▲12.1となった。前期における今期予測(▲22.0)より9.9%上昇し、前年同月比では0.3%上昇した。全国DIは4.6%低下し▲24.0となった。

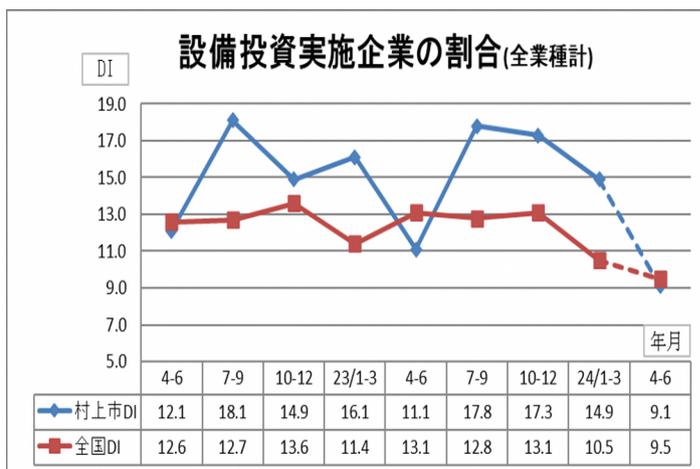
来期については、0.1%低下し▲12.2となる見通し。全国DIは3.3%上昇し▲20.7となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、2.1%低下し▲4.0となった。全国DIは0.1%上昇し▲16.2となった。

【借入DIの内訳】

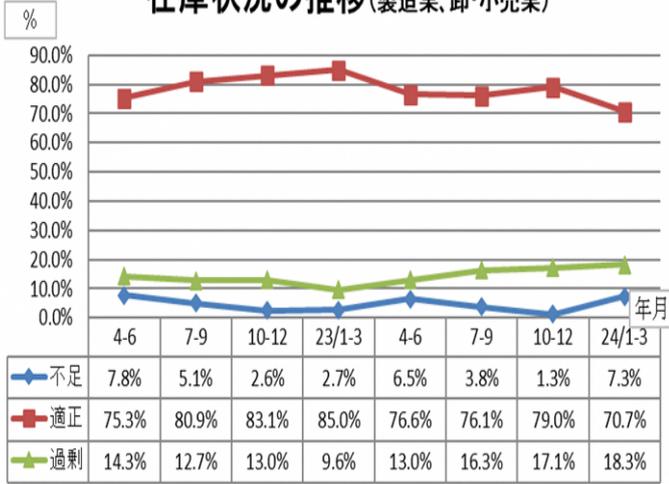
	前期	今期
・容易になった	3.0%	→ 1.2%
・変わらない	36.0%	→ 28.9%
・難しくなった	4.9%	→ 5.2%



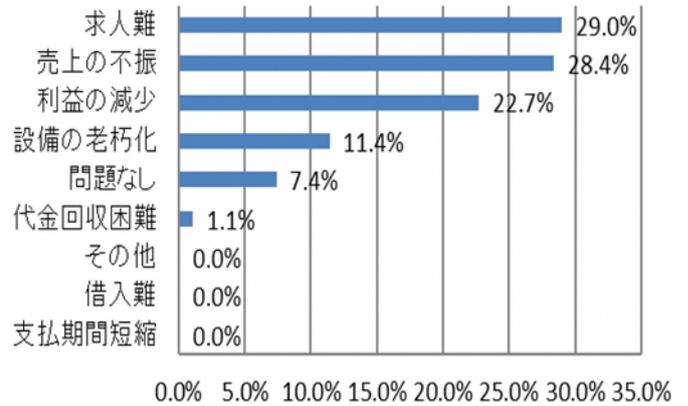
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、2.4%低下し14.9となった。前期における今期予測(16.1)より1.2%低下し、前年同月比では1.2%低下した。全国DIは2.6%低下し10.5となった。

来期については、5.8%低下し9.1となる見通し。全国DIは1.0%低下し9.5となる見通し。

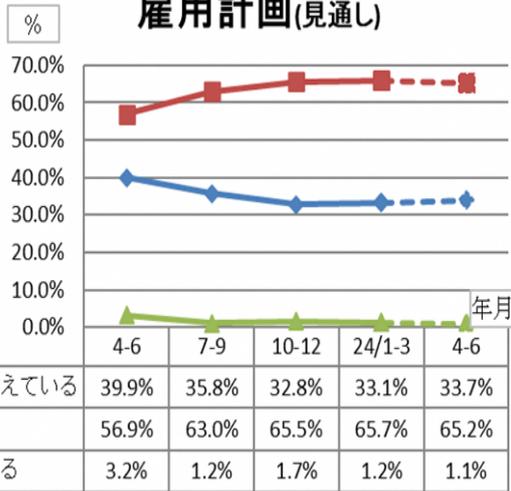
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



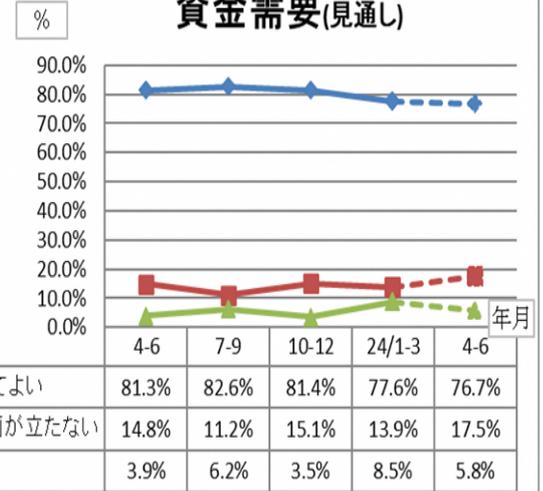
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)

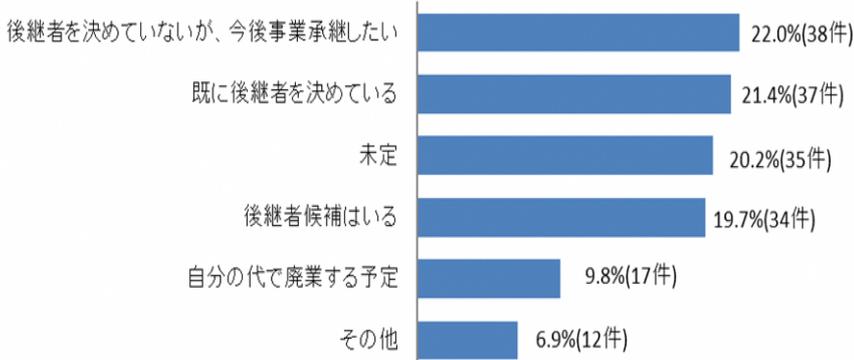


■事業承継の現状について

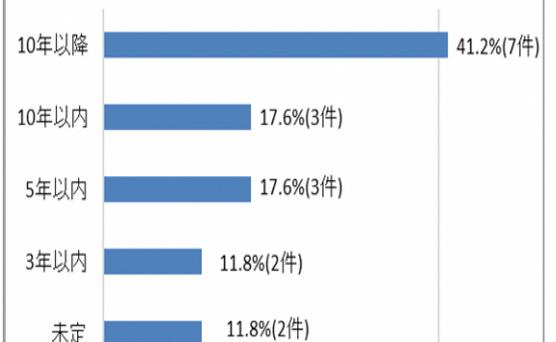
事業承継の現状について、次のうち該当するものを1つ選択してください。

左記の「自分の代で廃業する予定」を選択された方で、廃業までの予定期間はどれくらいでしょうか？

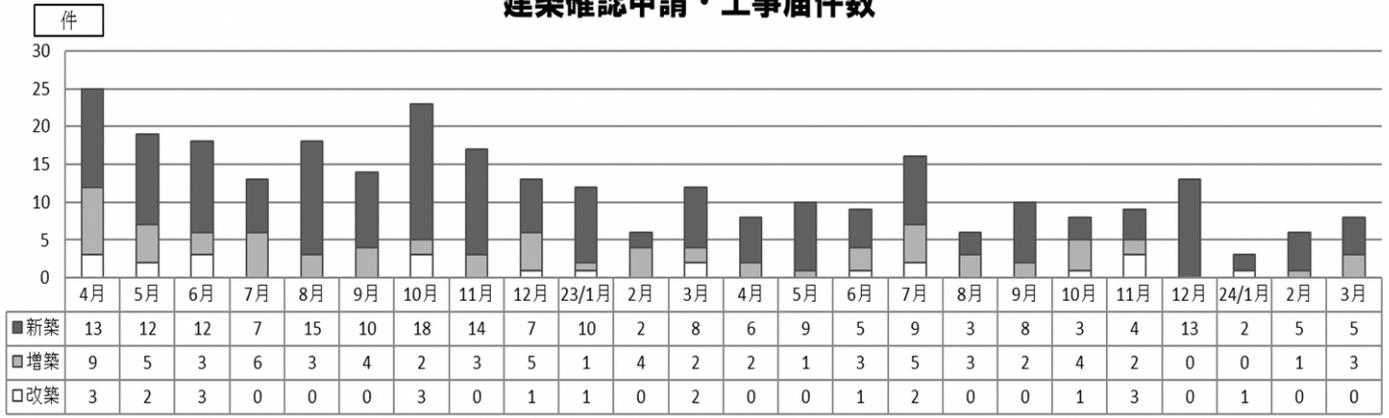
事業承継の現状について



廃業までの予定期間は？

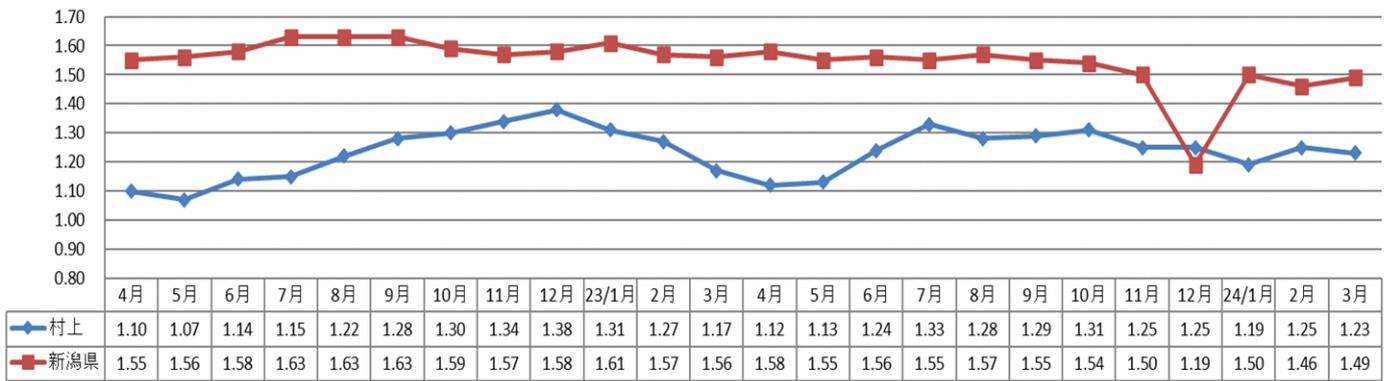


建築確認申請・工事届件数



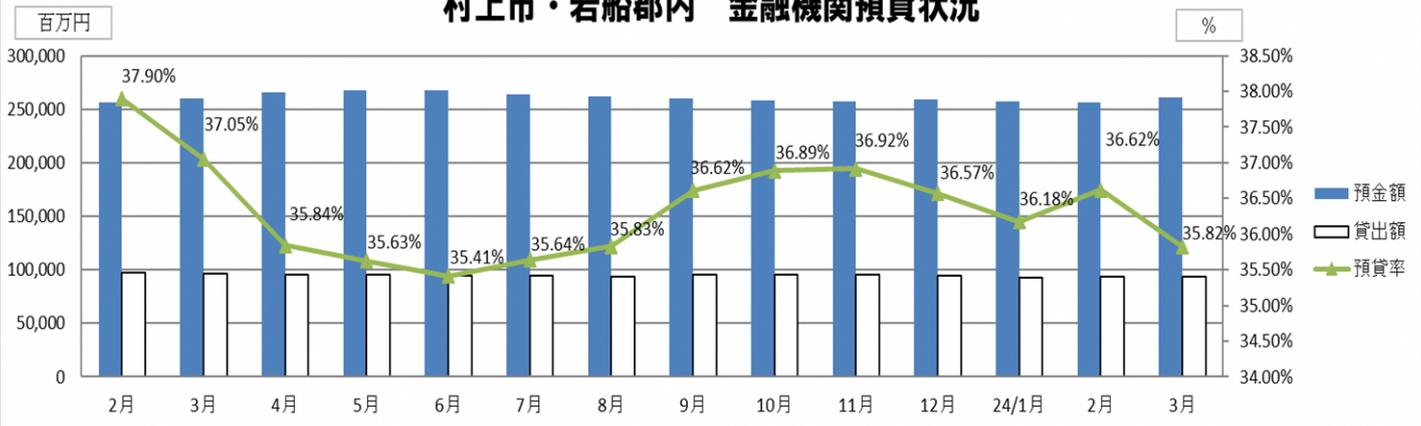
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2024年3月中旬～2024年4月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:179社(回収率89.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) 〈2024.1-3実績・2024.4-6見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)